



- 定例活動報告（昔の白子川のこと、教えて！）
- ◆ 白子川の西武線下流におけるアユ調査
- ◆ 泉新小の活動「WE LOVE 白子川の会」
- 電柱物語 中編（『見返』の由来）
- 源流探歩 ①（全国水生生物調査）
- ◆ 井戸の水位調査します

いがしら池のカツパくんとちーちゃんはとてなかなよかったです

ある日、カツパくんはさびしい声でいきました

「…もうあえないんだ…ちーちゃんとあそべてたのしかった

…さようなら…」

ちーちゃんはむねがいたくなりました

「どうして…」

カツパくんの目から大きなみだがこぼれ、
しずかに草のかげにきえてゆきました

ほんとうはちーちゃんはずっと

心配していたのです

いがしら池のわき水が

だんだんへってきたこと…

雨がふれば、下水がながれこんで

きれいな池にきたないどろがたまって

くさいにおいがするようになったこと…

カツパくんはお空にいきました

つぎの日からちーちゃんは

森をつくるために木をうえはじめました

わき水が わいてくるように

カツパくんとまたあうために



リレー表紙 6
(文・岡崎 一成)

白子川源流部では数年前から目に見えて湧き水が減っています。井頭池は汚泥化が進行し、生き物は激減しています。人が白子川に与えている負荷について向き合い、どうしたら解決できるか考え、環境改善を図っていかねばなりません。

湧き水を生みだす大地の構造を守り、源流に森をつくり、河川生態系を回復させ、白子川流域の自然環境を再生させることです。

カツパくんとまた出会うために、私たちは努力してゆきたいと思います。